

中央委員会宣言

私たちは、今日ここに、831支部 10万 2300人を超える仲間とともに、「後期高齢者医療制度即時廃止」など、諸要求実現の取り組みをはじめ幅広い運動を進める中で、第26回中央委員会を開催、成功させました。

民主党政権は、後期高齢者医療制度即時廃止の公約を裏切り、新しい高齢者医療制度を来年の通常国会に提出しようとしています。その本質は、私たちが廃止を要求している現行制度と変わりがなく、絶対に容認することができません。また、高齢者の生活はますます厳しさを増しています。最低保障年金制度の実現と、当面の年金引き下げ阻止、無年金・低年金者への緊急措置は切実な要求です。そして、目前に迫った一斉地方選挙も私たちが要求実現につなげる大切な機会です。

深刻さを増している貧困と格差を放置し、自民党政治との違いがないことが明らかになった民主党政治に対する失望と怒りが広がっています。アメリカ言いなりの「日米合意」に固執し、消費税増税を先取りする法人税減税まで強行しようとしています。国民生活に関わる政権公約を裏切り続けながら、民主党内部文書は、来年の通常国会で参院の比例区廃止、定数削減に着手し、完全小選挙区制目指すとしています。

こうした状況の中、私たちは年金者一揆全国一万人総行動を取り組み、高齢者の要求と怒りを全国で発信しました。年金者組合にとって重要なことは、全国各地域にしっかり根を張り、10万を超える草の根の力で世論を作り出し、諸要求を実現する情勢を切り開くことです。来春の一斉地方選挙で全力を尽くしその運動に確信を持って幅広い運動を展開していきましょう。

この秋の月間では、第20回大会までの目標の40%をやりきるため、各県は自主目標に向け本日まで「月間」を延長し、全力で取り組みを進めてきました。組織の拡大は、要求実現の力です。この秋の「月間」では宮崎県本部など目標達成し、さらに神奈川県本部が1万人を達成、全国を励ましました。

来春の「月間」では、秋の教訓を生かし大きく踏み出しましょう。高齢者人口比1% 20万人を展望し、第20回大会までに12万8千人、1000支部に、また、全県と400の支部に女性組織の結成を目指し、総力を挙げて取り組み奮闘します。

以上、宣言します。

2010年12月16日

全日本年金者組合第26回中央委員会